

ぐりーんず greens

第26号

2020.5 発行

理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

基本方針

- ・本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



病院長ご挨拶



令和2年度初頭に際し、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、日頃から様々なひとかたならぬ御支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和2年度は、Covid 19という、今までわれわれが対応したことがない病禍に対応しなければならないことから始まっております。この病禍は、医療だけではなく、経済や精神面でも、大きな打撃を全世界中の人々に与えております。20世紀初頭のいわゆるスペイン風邪といわれ、多くの人々が亡くなったインフルエンザにも匹敵するような大災害です。ワクチンなどの予防薬がないことや感染制御が困難なことが、ウイルスが蔓延する原因となっ

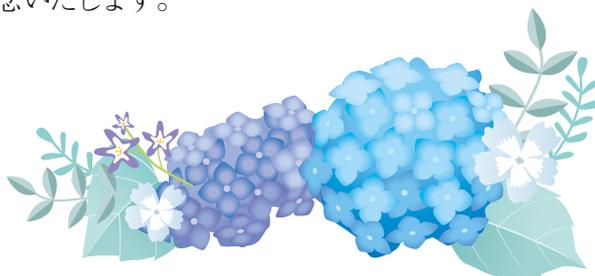
ております。

このような新感染症に対して、現在の医療体制や社会構造がいかに脆いかを露呈した形にもなっております。幸い欧米諸国と違い、わが国の死亡率が10万人あたり0.04～0.05人と低いのが、せめてもの救いではあります。これは、日本人の社会生活様式や医療体制が欧米諸国と比べて、感染症に対して少しは強いせいかもしれません。

当センターもコロナ対策teamを新たに作り、医療従事者が、Covid 19陽性患者とcrossして院内感染が起らないように厳重に注意を払っております。様々な点で、従来の医療提供体制と異なったことをspeedyに行わなければならない状況になっております。

皆様方には、いろいろと御迷惑をお掛けすると思っておりますが、この辺の事情を御推察いただき、御協力を賜りますようお願い致します。

最後に、皆様方のご健勝を心より祈念いたします。



令和2年5月
病院長 新井田 達雄

JCIを獲得しました!

JCIプロジェクトリーダー 副院長 関根 康雄

皆さん、JCIってご存知ですか?これはアメリカに本拠を置く、国際的な高品質病院の認定をする団体で、Joint Commission International(合同機構国際認定)といえます。世界中で多くの一流病院がこれを取得していますが、日本ではまだ30施設程度しか取得していません。日本では病院機能評価という団体が、その基準を満たした病院に認証を与えていますが、その国際版と思っていただければ結構です。

しかし、遥かに難しく、これを取得するのは並大抵のものではありません。JCIを取得することは国際的に一流の患者安全・サービスを持った病院であることの証となり、世界に公表することができます。

JCIにとって一番大切なことは、医療安全と患者満足の高いレベルで達成することです。そのために、ものすごくたくさんの指標を用いて医療の質を定量的に測定し、改善していくことが求められます。

私たちは2017年1月からこのJCIの認定を目指して、準備を開始しました。全てが英語で書かれており、その翻訳本も出ていましたが、あまり良い日本語とは言えず、始めから四苦八苦の連続でした。200人からなる準備委員会を立ち上げ、準備すべき内容から12のグループに分けました。そして絶対に基準を満たさなければならない患者確認方法、危険薬の取り扱い方法、手術の際の手術部位や手順の確認、院内感染予防のための手指衛生の徹底などに始まり、病院の統治機構、患者安全や不審者の排除のための施設基準、すべての医療従事者の資格制度(どの医療行為はしてよくて、どれはいけないかを個人レベルで設定する)、医療の質を測定する項目の設定とモニタリングなどなど、挙げだしたらキリがありません。これら全てが満たされるように準備を進めていきました。

2018年7月にJCIによる模擬審査を受けました。すでに始めてから1年半が経過していましたが、知識不足、認識不足、準備不足が露呈し、かなり厳しい多くの改善項目の指摘を受けてしまいました。そのため更に準備を進め、そこから一年半かけて、本審査に臨むこととなりました。すべてを網羅したポケットマニュアルも作成し、全員が携帯するようになりました。何かあってもそれを見れば、どうすべきかが分かります。

2020年2月17日(月)、ついに本審査の日が訪れました。世界中から4名の審査員(アメリカ人、カナダ人、デンマーク人、トルコ人)と8名の通訳が来訪し、1週間朝から夕方までバッチリと審査を受けました。書類審査に始まり、各部門の担当者への実務の聞き取り、すべての部署への訪問審査と、毎日目まぐるしく審査が進みました。もちろん日常診療は同時に進められていました。質問を受ける対象は幹部だけでなく、若手の医師・看護師から検査技師、栄養管理士、事務員、パートナー企業の方々にまで及びました。職員皆が最初は緊張して臨んでいましたが、徐々になれ、堂々と受け答えるようになったのがとても印象的でした。

2月21日(金)、ついに最終日。多くの職員がやりきったという満足感を持っていました。そして、最終結果報告。見事合格!多少の改善点があり、その改善計画書を提出する必要がありますが、審査員からは多くのお褒めの言葉をいただきました。本当は病院を上げてお祝いパーティーをしたいところですが、コロナの影響で自粛(涙)。今も医療の質の測定を継続し、改善に努めています。

JCIの認証は3年ごとに更新しなくてはなりません。そして更新の審査がより厳しくなります。それは現在を基に3年後により良く改善されているかを見るためです。JCIは取得することだけが目的ではありません。質の高い医療を継続する文化を根付かせるためのものです。特に意識しなくても、普段の仕事が医療安全と患者満足に繋がっていることを目指しています。私たちの努力は今も続いています。



JCI 認証のゴールドシール



JCI本審査最終日 審査員と一緒に集合写真

脳神経外科『脊椎脊髄末梢神経外来』紹介 科長 川島 明次 竹林 研人



八千代医療センター脳神経外科では2020年3月から『脊椎脊髄末梢神経外来』を第1、第3火曜日午後開設しました。

対象疾患としては、脊椎変性疾患(頰椎症性脊髄症、頰椎椎間板ヘルニア、頰椎後縦靱帯骨化症、胸椎黄色靱帯骨化症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、腰椎椎間板ヘルニアなど)のほか、脊椎脊髄外傷(骨粗鬆症・転移性腫瘍に伴う椎体圧迫骨折など)、脊髄腫瘍(神経鞘腫・髄膜腫など)、脊髄血管奇形(硬膜動静脈瘻)など、頰椎から腰仙椎まで全ての脊椎脊髄疾患および末梢神経疾患(手根管症候群など)です。治療は、まず投薬やリハビリなどの保存的加療を行います。効果が不十分なし症状が進行性の場合には顕微鏡下での安全かつ低侵襲な手術を行います。

担当医は日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脊髄外科学会認定医・指導医である竹林研人医師です。竹林医師は亀田総合病院で研修を積んだ後、現在東京女子医科大学本院の脊椎脊髄末梢神経の責任者として活躍しています。手足の痛み、痺れ、麻痺、頰部痛、腰痛、歩行障害などの症状でお困りの患者様は、お気軽にご相談ください。

緩和ケア内科新設のご挨拶 科長 竹下 信啓



本年4月より緩和ケア内科診療科長として赴任いたしました竹下信啓と申します。

平成4年に国立宮崎医科大学(現:宮崎大学医学部)卒業後、東京女子医科大学消化器病センター外科(現:消化器・一般外科)に入局し、およそ20年にわたり消化器外科医として修練を積んでまいりました。

これまで、がん診療の中心は主に外科医が担ってきました。事実、外科病棟には手術を受ける患者のみならず、がんに関連した様々な苦痛(疼痛、腹水貯留による腹満感や胸水貯留による呼吸苦など)を伴い、苦痛緩和を目的として入院している患者もいるのです。

外科医を目指す若手医師も減少している現状においては、外科医に多大な負担がかかっているのも事実であり、医療現場における重要な課題の一つであると思います。近年では、各分野における専門性を高めることで患者個々のニーズにあわせて医療を提供できるようになってきました。

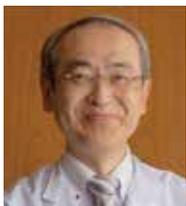
緩和医療の分野では、緩和ケア専門外来を設け入院した際には専従医師、精神科医師、専従・専任看護師や薬剤師などからなる緩和ケアチームを中心として各診療科横断的に対応できるように診療体制作りが行われています。

以前からがんに関連した様々な苦痛を伴う患者に真摯に向き合える医師になりたいという思いもあり、メスを置くことに不安を抱きつつも新たな道を歩むことを決意し、平成24年4月より東京女子医科大学化学療法・緩和ケア科に所属し、今回このようなありがたいお話を頂き八千代医療センターへの配転となりました。

これから本格的な高齢化社会を迎えるにあたり、がん患者数はますます増加の一途たどることを踏まえ、今まで以上にがん診療に全力を尽くす所存です。

当座の目標は、緩和ケアチームの役割を職員の皆様にしっかりと認知していただいた上で、診療実績をあげることから着手していきたいと思っております。徐々に緩和ケア外来を広げていき、地域を担っている先生方と密接に協力体制を構築していけたらと考えています。精一杯頑張りますのでご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

心臓血管外科 小児心臓血管外科担当 准教授 平松 健司



令和2年4月より当院に赴任致しました平松でございます。私は昭和59年に千葉大学を卒業後、心臓外科を志し、東京女子医科大学当時の日本心臓血圧研究所外科に入局し、主に先天性心疾患の外科治療に携わって参りました。

本院以外では和歌山県立医科大学や長野県立こども病院においても先天性心疾患の外科治療を担当してきております。

外科治療が必要な新生児から成人までの先天性心疾患の患者様が対象となります。従来は当院で先天性心疾患の手術が必要であった場合、本院からの出張手術で対応してきましたが、今後は当院にて手術可能となります。また重篤な症例も本院の心臓血管外科チームと連携し治療致します。また、成人期に達し次の段階の手術が必要な成人先天性心疾患にも対応しておりますので、どうぞお気軽にご相談下さい。

手術対象となる主な疾患は下記の通りです。

- ・低出生体重児動脈管開存症、大動脈縮窄症、大動脈離断症など
- ・非チアノーゼ性心疾患(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、房室中隔欠損症、重症大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症など)
- ・チアノーゼ性心疾患(ファロー四徴症、機能的単心室症、肺動脈閉鎖症、Ebstein奇形、完全大血管転位症、左心低形成症候群など)
- ・成人先天性心疾患

お知らせ

ご紹介の際は、紹介状(診療情報提供書)をご用意頂き、事前のご予約をお願い致します。

医療機関からの診察・検査連携のご予約(地域連携直通)

TEL 047-458-6543 FAX 047-458-6545

受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 ・ 土曜日 9:00 ~ 13:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30 ~ 1/4)はお取扱していません。

※時間外の場合はFAXを送信して下さい。翌受付時間内にご連絡させていただきます。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。



医療連携マネージャー(医師)

緊急を要する当日(日中)のご紹介は、紹介診療科が定まっている場合は従来通り当該診療科の医師が対応します。担当診療科の特定がしにくい場合は、「医療連携マネージャー」が電話対応をさせていただきます。ご対応は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

検査連携(医療機関から申込)

検査連携のご依頼は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

応需検査: CT、MRI(単純)、RI、XP、マンモグラフィ、骨密度測定、セファロの画像検査

患者さんからの診察のご予約(予約センター)

TEL 047-458-6600

受付時間 平日 9:00 ~ 16:00 ・ 土曜日 9:00 ~ 12:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30 ~ 1/4)はお取扱していません。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

やちよ夜間小児急病センター(中学3年生までの小児対象)

TEL 047-458-6090

受付時間 毎日 18:00 ~ 23:00

医療相談は行っていません。ご予約の必要はありません。受付時間内に直接ご来院下さい。

地域医療連携フォーラム 前年度中止と今年度開催予定案内

「第9回東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」は新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、ご参加される皆様への感染するリスク、感染した際の地域社会に及ぼす重大な影響を考慮し、中止させていただきました。

今年度は下記の通り開催を予定しております。詳細につきましては、後日改めてご案内させていただきます。

「東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」

日時: 令和3年2月6日(土) 17:00 ~ 20:00 (受付開始16:30)

会場: ウィンストンホテル・ユウカリ (千葉県佐倉市ユウカリが丘4-8-1)

内容: 第1部 講演会

第2部 意見交換会・懇親会



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL 047-450-6000(代表)

FAX 047-458-6545

入退院支援室 TEL 047-458-6543(直通)